

令和9（2027）年度 学校推薦型選抜Ⅰ 学生募集要項

（大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜）

出願期間	令和8年11月 2日（月）～6日（金） ※インターネット出願登録は、令和8年10月27日（火）からできます。 ※締切日の消印有効
試験日	令和8年11月21日（土）
合格発表	令和8年12月 1日（火）
入学手続期限	令和8年12月 8日（火）



鳥取大学
Tottori University

<不測の事態が発生した場合の対応について>

大規模災害等の不測の事態により入学試験の予定通りの実施が困難な場合、又は交通機関の混乱等により受験者に相当程度の影響が及ぶと判断した場合は、試験時間の短縮や試験日時、選抜方法及び合格発表日の変更等の対応をとることがあります。その場合、対応を以下の本学ホームページでお知らせしますので、出願及び受験の直前には特に注意してください。

鳥取大学入学試験情報ホームページ：

<https://www.admissions.adm.tottori-u.ac.jp/>

スマホ・携帯電話サイト：

https://admission.telemail.jp/shingaku/topics_g/important/list/I0003463 (スマホ・携帯電話サイト)



<鳥取大学入学者選抜における生成 AI の利用について>

本学では、学生や教職員が生成 AI（ChatGPT など）を利用するにあたり、「鳥取大学における生成系 AI の利用に関する基本方針と注意事項」を定めて、生成 AI の利用に対する問題点や課題について注意喚起を行っています。

<https://www.tottori-u.ac.jp/about/effort/ai/>

受験生の皆様にも、出願書類等の作成にあたって生成 AI を利用することは禁止しませんが、特に下記の点に留意してください。

- ・情報の流出や漏洩に繋がる可能性があるため、生成 AI に対して、個人情報や秘密情報を入力しないこと。
- ・生成 AI が出力した結果には誤った内容が含まれている可能性があるため、結果を鵜呑みにせず、他の方法で調べた情報と照らし合わせながら利用すること。
- ・志望理由書や自己評価シート等は、受験者本人の責任において、自身の考えなどに基づいて記載すること。

目 次

1. 入学者受入れの方針	1
2. 実施学部，学科等及び募集人員	7
3. 出 願 要 件	7
4. 出 願 手 続	11
5. 受験票のダウンロード・印刷	28
6. 本学が個別に入学資格審査を行う場合の注意事項	29
7. 障がい等のある入学志願者の事前相談について	29
8. 選 抜 方 法	30
9. 試験日時・試験場	32
10. 受験上の注意事項	32
11. 合 否 判 定 方 法	34
12. 合 格 発 表	34
13. 入 学 手 続	35
14. 入 学 前 教 育	36
15. 学生生活案内	36
16. ノート型パソコンの必携について	37
17. 入学に必要な学部別納入経費（予定）	38
18. そ の 他	39
問合せ先	40

1. 入学者受入れの方針

鳥取大学は、本学の基本理念である「知と実践の融合」を志向し、知識を深め理論を身につけるとともに、実践を通して地域から国際社会まで広く貢献したいという意欲を持ち、これに必要な能力を高めることを志す次のような人を広く受け入れます。

1. 文化、社会、自然に関し、高等学校等において履修する科目の基本的な知識・技能を有する人
2. 大学で学ぶにあたり、基礎的な思考力、判断力、表現力を修得し、その向上を志す人
3. 自己の能力を継続的に向上させ、課題や問題を探究しようと志す人
4. 健全な倫理観を身につけ、主体的に他者と協働して社会貢献を志す人

各学部・学科等では、これらの人を受け入れるため、入学者に求める能力やその評価方法を、様々な能力と関連付けて明示し、大学入学共通テストを利用する一般選抜のほか、総合型選抜、学校推薦型選抜、社会人を対象とした選抜などにより多面的かつ総合的な評価による入試の機会を設けます。

【学部・学科等の入学者受入れの方針】

地域学部

地域学部では、地域とそこに生きる人々との関わりに関心を持ち、これを科学的に探究し、地域の持続的発展に貢献したいという意欲をもった、次のような人を求めます。

1. 地域学を学ぶにあたり、高等学校等において身につける、文化、社会、自然に関する基礎的な知識・技能を有する人
2. 地域学を学ぶにあたり、基礎的な思考力、判断力、表現力を修得し、その向上を志す人
3. 自己の能力を継続的に向上させ、地域の諸課題を探究しようと志す人
4. 健全な倫理観を身につけ、主体的に他者と協働して地域社会の持続的な発展への貢献を志す人

地域学部では、これらの人を受け入れるため、入学者に求める能力やその評価方法を、知識・技能、思考力・判断力、表現力、主体性・協働性、創造性など様々な能力と関連付けて明示し、大学入学共通テストを利用する一般選抜のほか、総合型選抜、学校推薦型選抜、社会人を対象とした選抜などを活用して多面的かつ総合的な評価による入学者の選考を行います。

■ 地域学科地域創造コース

地域創造コースでは、多面的な視点から地域を考え、地域に暮らす人々の幸せと地域の発展に貢献したい人や、地域のさまざまな資源を有効に活用し、発展させるための提言ができる人を育てることを目指しています。そこで本コースは、次のような人を求めています。

1. 地域の様々な課題に興味をもち、それを解決し魅力的な地域を創造したいと望んでいる人
2. 多面的な視点から地域を考え、地域に暮らす人々の幸せと地域の発展に貢献したい人
3. 地域の多様な資源を有効に活用し、地域を発展させるための提言や取り組みができるようになりたい人
4. 健全な倫理観を身につけ、主体的に他者と協働して地域社会の持続的な発展への貢献を志す人

〔選抜方法と求める能力の関連〕

選抜方法	求める能力					配点	備考（活用方法など）
	知識 技能	思考力 判断力	表現力	主体性 協働性	創造性		
推薦書 志望理由書 調査書	○	○	○	○	○	50	推薦書・志望理由書・調査書は個別の評価を行わず、それらの記述内容を踏まえて行う面接とあわせて評価する。
面接	○	○	○	○	○		
小論文	○	○	○	○	○	50	
合計						100	

工学部

工学部は、人類の福祉と社会の発展に貢献するため、主として工学の分野における学術研究と教育を行い、社会が必要とする技術を開発し、それを駆使しうる人材を養成することを目的としています。この目的に共感して学ぶことのできる次のような人を求めます。

1. 地球の環境、人類の幸福・福祉に関心を持ち、社会的責任についての考えや倫理観を身につけたいと考えている人
2. 基礎知識や専門知識を学修し、学んだことを新技術開発や問題解決に応用して社会に貢献したいと考えている人
3. 目的を持って自ら学ぶ努力のできる人
4. 他者の意見を聞き、自らの意見を発信するための能力や技能を身につけたいと考えている人
5. 地域社会への貢献や国際的な活躍ができる技術力を身につけ、それを活用する意欲のある人

工学部では、これらの人を受け入れるため、入学者に求める能力やその評価方法を、知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・協働性など様々な能力と関連付けて明示し、大学入学共通テストを利用する一般選抜のほか、総合型選抜、学校推薦型選抜などを活用して多面的かつ総合的な評価による入学者の選考を行います。

■ 機械物理系学科

機械物理系学科では、大学及び工学部の入学者受入れの方針に基づき、次のような人を求めています。

1. 自然現象や様々な事象に強い興味を持ち、物事を根本的なところから思考できる人
2. 機械、航空宇宙、ロボティクス、物理工学、医工学を学ぶのに必要な基礎学力、特に数学、物理についての学力、及び国語、英語などの語学能力を有し、学習意欲を持っている人
3. 自立・自律心の向上を目指す人
4. 自然環境と人間社会との共存に関心を持ち、柔軟な発想・洞察をもって課題の発見に努力のできる人
5. 課題の解決に向けて、倫理観と熱意を持って持続的に取り組むことのできる人
6. 他者と協働し、倫理観を持って社会の変化に対応した知識、能力、技能を身につけたいと考えている人

〔選抜方法と求める能力の関連〕

選抜方法	求める能力			配点	備考（活用方法など）
	知識 技能	思考力 判断力 表現力	主体性 協働性		
口頭試問	○	○	○	120	数学・物理の基礎学力に関する試問を行う。
面接	○	○	○	80	面接は、志望理由や高校での取り組みなどを確認する。推薦書、調査書は面接の際の参考にする。
推薦書 調査書	○	○	○		
合計				200	

■ 電気情報系学科

電気情報系学科では、大学及び工学部の入学者受入れの方針に基づき、次のような人を求めています。

1. 数学・理科・英語などの工学に必要な基礎学力を有している人
2. 工学系の学問分野、特に電気電子情報分野（エネルギー、材料、情報、制御、システム、医工学等）に興味を持つ人
3. 工学が社会や自然に及ぼす影響に関心を持つ人
4. 論理的記述力、口頭発表力、討議などのコミュニケーション能力を高め、将来、国際社会で役立つ技術者、研究者となる意欲を持つ人
5. 社会の変化に対応して、倫理観を持って自ら学び続ける意欲を持つ人

〔選抜方法と求める能力の関連〕

選抜方法	求める能力			配点	備考（活用方法など）
	知識 技能	思考力 判断力 表現力	主体性 協働性		
口頭試問	○	○	○	80	数学・物理に関する試問（教科書レベル）で基礎学力を評価する。
面接	○	○	○	70	面接では、総じてコミュニケーション能力を評価しつつ、志望動機や意欲などについて質問する。推薦書は面接の際の参考にする。
推薦書 調査書	○	○	○		
合計				150	

■ 社会システム土木系学科

社会システム土木系学科では、大学及び工学部の入学者受入れの方針に基づき、次のような人を求めています。

1. 数学・理科・英語などの基礎学力を有している人
2. 広く物事に関心を持ち、幅広く学問を学ぶ積極的な心構えがある人
3. 人類の安全と平和、ならびに健康と福祉について考え得る技術者倫理を持つことができる人
4. 人類と自然との調和を図り、持続的な社会を創造する力を身につける意志がある人
5. 計画・建設・管理技術に関する幅広い知識と技能を身につける意欲がある人
6. 他者と協働し、社会の変化に対応した知識、能力、技能を身につけたいと考えている人

〔選抜方法と求める能力の関連〕

選抜方法	求める能力			配点	備考（活用方法など）
	知識 技能	思考力 判断力 表現力	主体性 協働性		
口頭試問	○	○	○	100	数学・物理の基礎学力に関する試問を行う。
面接	○	○	○	200	推薦書、調査書は面接の際の参考にする。
推薦書 調査書	○	○	○		
合計				300	

農学部

農学部では、人類の持続的生存と福祉への貢献を目指す次のような人を求めています。

1. 文化、社会、自然に関する基本的な知識・技能を有する人
2. 大学で学ぶにあたり、基礎的な思考力、判断力、表現力を修得している人
3. 自己の能力を継続的に向上させようとする意欲がある人
4. 倫理観及び責任感をもち他者と協働して社会に貢献したいと考えている人
5. 食料、環境、いのちについて強い関心を持ち、自主的、自発的に学ぶ意欲を持つ人
6. 国内外で農学の発展に積極的に貢献したいと考えている人

■ 生命環境農学科

生命環境農学科では、農学部の入学者受入れの方針に基づき、傾聴力を有し、視野を広げ、創造力を養う意欲をもった、次のような人を求めています。

1. 食料、環境、生命に関心を持ち、高等学校等で履修する科目の基本的な知識を有する人
2. 基礎的な科学的思考力と判断力を持ち、その多面的な向上と深化を志す人
3. 自己の能力を継続的に向上させ、乾燥地の農業や環境問題、地域資源の保全や活用、生物資源の発掘や育種、生命現象の解明や応用について主体的に探究する意欲を持つ人
4. 健全な倫理観と使命感を持ち、自身の考えを表現する力、力を合わせて活動する力を備える人

生命環境農学科では、これらの人を受け入れるため、入学者に求める能力やその評価方法を、知識・技能、思考力・判断力、表現力、意欲などに関連付けて明示し、大学入学共通テストを利用する一般選抜のほか、総合型選抜、学校推薦型選抜、社会人を対象とした選抜などを活用して多面的かつ総合的な評価による入学者の選考を行います。

〔選抜方法と求める能力の関連〕

・募集方法（A）の①

選抜方法	求める能力						配点	備考（活用方法など）
	知識 技能	思考力 判断力	表現力	主体性	協働性	農学の課題 解決に対する 意欲		
調査書	◎			○	○		30	高校での学習成績の状況等を評価する。
推薦書	○	○		○	○	○	70	面接は、英語の基礎知識を問う試問も含む。
志望理由書・ 面接	○	○	○	○	○	◎		
合計							100	

・募集方法（Ａ）の②

選抜方法	求める能力						配点	備考（活用方法など）
	知識 技能	思考力 判断力	表現力	主体性	協働性	農学の課題 解決に対する 意欲		
資格						◎	50	資格は、「農学の課題解決に対する意欲」を評価する。なお、資格については、P.17③出願書類等を参照すること。
調査書	◎			○	○			高校での学習成績の状況等を評価する。
推薦書	○	○		○	○	○	50	面接は、英語の基礎知識を問う試問も含む。
志望理由書・ 面接	○	○	○	○	○	◎		
合計							100	

・募集方法（Ｂ）

選抜方法	求める能力						配点	備考（活用方法など）
	知識 技能	思考力 判断力	表現力	主体性	協働性	農学の課題 解決に対する 意欲		
調査書	◎			○	○		30	高校での学習成績の状況等を評価する。
推薦書	○	○		○	○	○	70	面接は、英語の基礎知識を問う試問も含む。
志望理由書・ 面接	○	○	○	○	○	◎		
合計							100	

・募集方法（Ｃ）

選抜方法	求める能力							配点	備考（活用方法など）
	知識 技能	思考力 判断力	表現力	主体性	協働性	農学の課題 解決に対する 意欲	英語力		
英語資格							◎	65	英語民間試験を重視して評価する。
調査書	○			○	○				高校での学習成績の状況等を評価する。
推薦書	○	○		○	○	○		35	面接は、英語の基礎知識を問う試問も含む。
志望理由書・ 面接	○	○	○	○	○	◎			
合計								100	

・募集方法（Ｄ）

選抜方法	求める能力							配点	備考（活用方法など）
	知識 技能	思考力 判断力	表現力	主体性 行動力	協働性	農学の課題 解決に対する 意欲	リーダー シップ		
課外活動実績							◎	50	課外活動実績は「リーダーシップ」を評価する。正課外のスポーツ等の活動の状況を重視して評価する。
調査書	○			◎	◎				高校での学習成績の状況等を評価する。
推薦書	○	○		○	○	○		50	面接は、英語の基礎知識を問う試問も含む。
志望理由書・ 面接		○	○	○	○	○	○		
合計								100	

※農学部においては、◎は特に重視している項目を示しています。

2. 実施学部、学科等及び募集人員

学 部	学 科 等	募 集 人 員
地 域 学 部	地 域 学 科 地 域 創 造 コ ー ス	8 人
	計	8 人
工 学 部	機 械 物 理 系 学 科	4 人
	電 気 情 報 系 学 科	5 人
	社 会 シ ス テ ム 土 木 系 学 科	4 人
	計	13 人
農 学 部	生 命 環 境 農 学 科	募集方法(A)の① 7 人 募集方法(A)の② 若干人 募集方法(B) 28 人 募集方法(C) 5 人程度 募集方法(D) 5 人程度
	計	45 人
合 計		66 人

(注)志望は、いずれか一つの学部、学科等に限ります。

受験者の総合点が合格基準に達していない場合、合格者数が募集人員に満たない場合があります。その場合の欠員は一般選抜の合格者で補充します。

3. 出 願 要 件

各学部が示す次の要件に該当し、かつ高等学校等の長が責任をもって推薦できる者で、合格した場合は入学することを確約できる者

学部	学 科 等	出 願 要 件
地 域 学 部	地 域 学 科 地域創造コース	高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を令和9年3月卒業見込みの者（令和8年4月以降、学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。）、あるいは本学において、個別の入学資格審査により、前段と同等であると認めた者であって、令和9年3月31日までに満18歳に達する者で、次の各号に該当する者 (1)人物、学業成績がともに優れ、地域政策に関心があり、将来、地域づくりににおいてリーダーシップを発揮しようとする意欲がある者 (2)高等学校等の学習成績概評がA段階である者 【推薦できる者は、1高等学校等につき2人以内とする】

学部	学 科 等	出 願 要 件
工 学 部	機械物理系学科	高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）の工業に関する学科又は総合学科の工学分野を令和９年３月卒業見込みの者（令和８年４月以降，学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。），あるいは本学において，個別の入学資格審査により，前段と同等であると認めた者であって，令和９年３月３１日までに満１８歳に達する者で，次の各号に該当する者 (1)人物，学業成績がともに優れ，機械，航空宇宙，ロボティクス，物理工学，医工学の学習に熱意のある者 (2)高等学校等の学習成績概評がＡ段階である者
	電気情報系学科	高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）の工業に関する学科又は総合学科の工学分野を令和９年３月卒業見込みの者（令和８年４月以降，学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。），あるいは本学において，個別の入学資格審査により，前段と同等であると認めた者であって，令和９年３月３１日までに満１８歳に達する者で，人物，学業成績がともに優れ，工学（特に電気電子工学あるいは情報工学分野）の学習に熱意のある者
	社会システム 土木系学科	高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）の工業に関する学科，総合学科の工学分野又は農業土木に関する学科を令和９年３月卒業見込みの者（令和８年４月以降，学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。），あるいは本学において，個別の入学資格審査により，前段と同等であると認めた者であって，令和９年３月３１日までに満１８歳に達する者で，次の各号に該当する者 (1)人物，学業成績がともに優れ，工学（特に土木工学）の学習に熱意のある者 (2)高等学校等の学習成績概評がＡ段階である者

学部	学 科 等	出 願 要 件										
農学部	生命環境農学科	下記に規定する高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を令和８年３月に卒業した者（令和７年４月から令和８年３月までの学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。）及び令和９年３月卒業見込みの者（令和８年４月以降、学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。）、あるいは本学において、個別の入学資格審査により、前段と同等であると認めた者であって、令和９年３月３１日までに満１８歳に達する者										
		募集方法（Ａ）：専門高校対応型 農業、商業、工業等に関する専門教育（「総合的な学習の時間」を含む。）を主とする学科又は総合学科で、専門教育の修得単位数が、25 単位以上の者及び①、②のいずれかに該当する者 ①一般タイプ 人物、専門教育に係る成績がともに優れ、食料の生産、生物資源の利活用、食品、農業ビジネス、水資源開発や農地・森林の保全管理などに関係する分野の学習に熱意がある者 ②農林業就業志向タイプ （Ａ）の①に出願する者で、卒業後に農林業に就業することを強く希望し、農林業に関する高度な資格（例：日本農業技術検定２級以上、農業簿記検定２級以上、スーパー農林水産業士等）を有している者、又は地方自治体の首長等から卒業後の農林業への就業支援をすることを確約された者 （注）農学部生命環境農学科は２年次から教育コースに所属します。募集方法（Ａ）の①、（Ａ）の②に出願する場合は、インターネット出願登録の際、次の４つの教育コースから希望するものを選択してください。 <table><tr><th>教育コース</th><th>教育の特徴</th></tr><tr><td>国際乾燥地農学コース</td><td>乾燥地を中心とした海外諸地域の環境問題や農業問題の本質を理解し、それらの地域における環境保全や農業農村開発に貢献できる人材を養成します。</td></tr><tr><td>里地里山環境管理学コース</td><td>人々の営みが地域の資源・環境に及ぼす影響を自然科学と社会科学の広い視野から理解し、里地里山の持続可能な保全・利用に貢献できる人材を養成します。</td></tr><tr><td>植物菌類生産科学コース</td><td>新たに開発する生物資源とニホンナシやきのこなどの鳥取県の特産である既存の生物資源を生産し、高度に活用できる人材を養成します。</td></tr><tr><td>農芸化学コース</td><td>生物資源の有効利用並びに食品の栄養評価・機能性についての体系的な知識と技術を有する人材を養成します。</td></tr></table> 募集方法（Ａ）の①、（Ａ）の②で入学した場合は、出願時に希望した教育コースに所属することになります。入学後はコースの変更はできませんので、充分検討のうえ選んでください。	教育コース	教育の特徴	国際乾燥地農学コース	乾燥地を中心とした海外諸地域の環境問題や農業問題の本質を理解し、それらの地域における環境保全や農業農村開発に貢献できる人材を養成します。	里地里山環境管理学コース	人々の営みが地域の資源・環境に及ぼす影響を自然科学と社会科学の広い視野から理解し、里地里山の持続可能な保全・利用に貢献できる人材を養成します。	植物菌類生産科学コース	新たに開発する生物資源とニホンナシやきのこなどの鳥取県の特産である既存の生物資源を生産し、高度に活用できる人材を養成します。	農芸化学コース	生物資源の有効利用並びに食品の栄養評価・機能性についての体系的な知識と技術を有する人材を養成します。
		教育コース	教育の特徴									
国際乾燥地農学コース	乾燥地を中心とした海外諸地域の環境問題や農業問題の本質を理解し、それらの地域における環境保全や農業農村開発に貢献できる人材を養成します。											
里地里山環境管理学コース	人々の営みが地域の資源・環境に及ぼす影響を自然科学と社会科学の広い視野から理解し、里地里山の持続可能な保全・利用に貢献できる人材を養成します。											
植物菌類生産科学コース	新たに開発する生物資源とニホンナシやきのこなどの鳥取県の特産である既存の生物資源を生産し、高度に活用できる人材を養成します。											
農芸化学コース	生物資源の有効利用並びに食品の栄養評価・機能性についての体系的な知識と技術を有する人材を養成します。											
募集方法（Ｂ）：普通科高校対応型 普通教育を主とする学科又は総合学科（「総合的な学習の時間」を含む専門教育に関する教科・科目の修得単位数が、25 単位未満の学科）の者で人物、普通教育に関する成績がともに優れ、食料の生産や流通、環境保全、生物資源の利活用、食品・創薬などに関係する分野の学習に熱意がある者												

4. 出 願 手 続

(1) 出願期間

インターネット出願登録期間	令和8年10月27日(火)～11月 6日(金)16時00分
出 願 書 類 等 提 出 期 間	令和8年11月 2日(月)～11月 6日(金) (11月6日(金)の消印有効)

(2) 出願方法

出願はインターネット出願のみです。

入学志願者は、上記の出願期間中に本学の「インターネット出願サイト」より、インターネット出願登録と検定料の支払いを済ませ、なおかつP.17～18記載の出願書類等を本学に郵送してください。

なお、インターネット出願登録期限は出願締切日(11月6日(金))の16時までです。それ以降は登録できませんので注意してください。

出願にあたって準備するものや検定料の支払方法等の詳細は、P.16～18を確認してください。

【郵送方法】

- 市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm)に、本学の「インターネット出願サイト」マイページからカラー印刷した出願書類等提出用封筒宛名ラベルを貼り付けてください。(郵送先は自動で印字されます。)
- 上記1.で作成した出願書類等提出用封筒にP.17～18記載の出願書類等をすべて封入し、**提出期間内に届くよう、簡易書留・速達で郵送してください。**
(出願書類等提出期間を過ぎて到着した場合は、11月6日(金)以前の発信局消印があるものに限
り受け付けます。郵便事情を十分考慮して発送してください。)

(注1) 入学検定料の支払い後は、出願内容を一切変更できませんので、内容を十分確認してください。

(注2) 出願書類等の受領確認は電話でお答えすることはできませんので、日本郵便ホームページ等の追跡サービスで確認してください。

(注3) 出願書類等を持参する場合は、出願期間内の平日9:00から17:00まで、学生部入試課(共通教育棟2階)で受け付けます。

【問い合わせ先等】

○インターネット出願登録の方法、検定料支払方法に関する問い合わせ先
(株) キャリタス「学び・教育」出願・申込サービスサポートセンター
TEL:0120-202-079 (24時間365日対応)

○入試に関する問い合わせ先
鳥取大学学生部入試課
TEL:0857-31-5061 (平日9:00～17:00)

◆インターネット出願サイト <<https://e-apply.jp/ds/tottori-u/>>



インターネット出願の流れ

出願完了までの流れは、以下の通りです



STEP

1

事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください。
必要書類※1は、発行まで時間を要する場合があります。
早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。

大学入学共通テストの成績請求情報の提供手続は「Web方式」になります。
大学入学共通テスト出願サイトのマイページにある「出願内容確認・訂正」から「申込番号」を確認し、控えておいてください。※2

※1 必要書類… 調査書、顔写真データなど。詳細は各選抜の学生募集要項を参照してください。
※2 大学入学共通テストを課さない選抜では、成績請求情報の提供手続は不要です。



STEP

2

インターネット出願サイトにアクセス

インターネット
出願サイト

<https://e-apply.jp/ds/tottori-u/>

または、
鳥取大学入学試験情報
ホームページのバナー
からアクセス



STEP

3

マイページの登録

画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。
なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP4に進んでください。



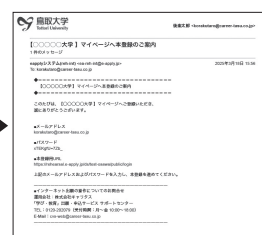
①初めて登録する方は
マイページ登録 を
クリックしてください。



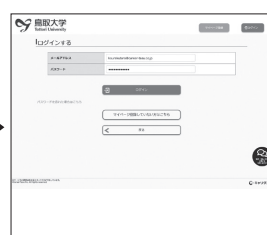
②メールアドレスの登録を行って
仮登録メールを送信 を
クリックしてください。



③ユーザー登録画面から
ログインページへ を
クリックしてください。



④登録したメールアドレスに
初期パスワードと
本登録用URLが届きます。
※@e-apply.jpのドメインからのメール
を受信できるように設定してください。



⑤ログイン画面から
登録したメールアドレスと④で
届いた『初期パスワード』にて
ログイン を
クリックしてください。



⑥初期パスワードの変更を
行ってください。



⑦個人情報を入力して
次へ を
クリックしてください。



⑧個人情報を確認して
この内容で登録する を
クリックしてください。



⑩上記ページが表示されたら
マイページ登録は完了です。

※ 出願受付中の場合のみ、 **出願手続きを行う** > ボタンをクリックすると
出願手続きに進めます。
登録期間外の場合は、これより先に進めませんので **ログアウト** ボタンを
クリックしてください。

▼
▼
▼

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。
※選抜によって入力内容が異なります。



①マイページログイン後の
出願手続きを行う > ボタン
から登録画面へ



②入試区分の選択及び留意事項の確認



③志望学部等の選択



④顔写真のアップロード

写真選択へ > ボタンをクリックし
写真を選択します。



⑤個人情報(氏名・住所等)の入力



⑥ 出願内容の確認及び登録

※確認用PDFのテスト出力が出来ますので、誤りがないか必ず確認してください。

大学入試センターへの連携情報の入力

※入力に必要な情報は大学入試センターの「大学入学共通テスト出願システム」のマイページから確認してください。



⑦申込登録完了

引き続き支払う ボタンをクリックし検定料のお支払い画面へ。

⚠ 申込登録完了後は、登録内容の修正・変更ができません。
修正・変更が必要な場合は、引き続き支払う を選択しないで、STEP 4 ①から新しく登録してください。



⑧入学検定料の支払い方法

- コンビニエンスストア
- ペイジー対応銀行ATM
- ネットバンキング ●クレジットカード

STEP 5 へ

入学検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」または「ペイジー対応銀行ATM」を選択される方は、支払い方法の選択後に表示されるお支払いに必要な番号を下記メモ欄に控えたうえ、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンスストアまたはペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

[illegible]

ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、ペイジー対応銀行ATMの場合

お客様番号 メモ(11桁)											
------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

確認番号 メモ(6桁)						
----------------	--	--	--	--	--	--

収納機関番号 (5桁)	5	8	0	2	1
----------------	---	---	---	---	---

※収納機関番号は、ペイジーでお支払いの際に必要となります。

申込登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を許可してください。 ※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。



入学検定料の支払い

※お支払いには期限がありますのでご注意ください。

1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】 VISA、Master、JCB、AMERICAN EXPRESS、Diners、MUFGカード、DCカード、UFJカード、NICOSカード



出願登録時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されている必要があります

Webで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

●レジで支払い可能

●店頭端末を利用して支払い可能



Loppi



マルチコピー機

あなたも、コンビニ、
FamilyMart



4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

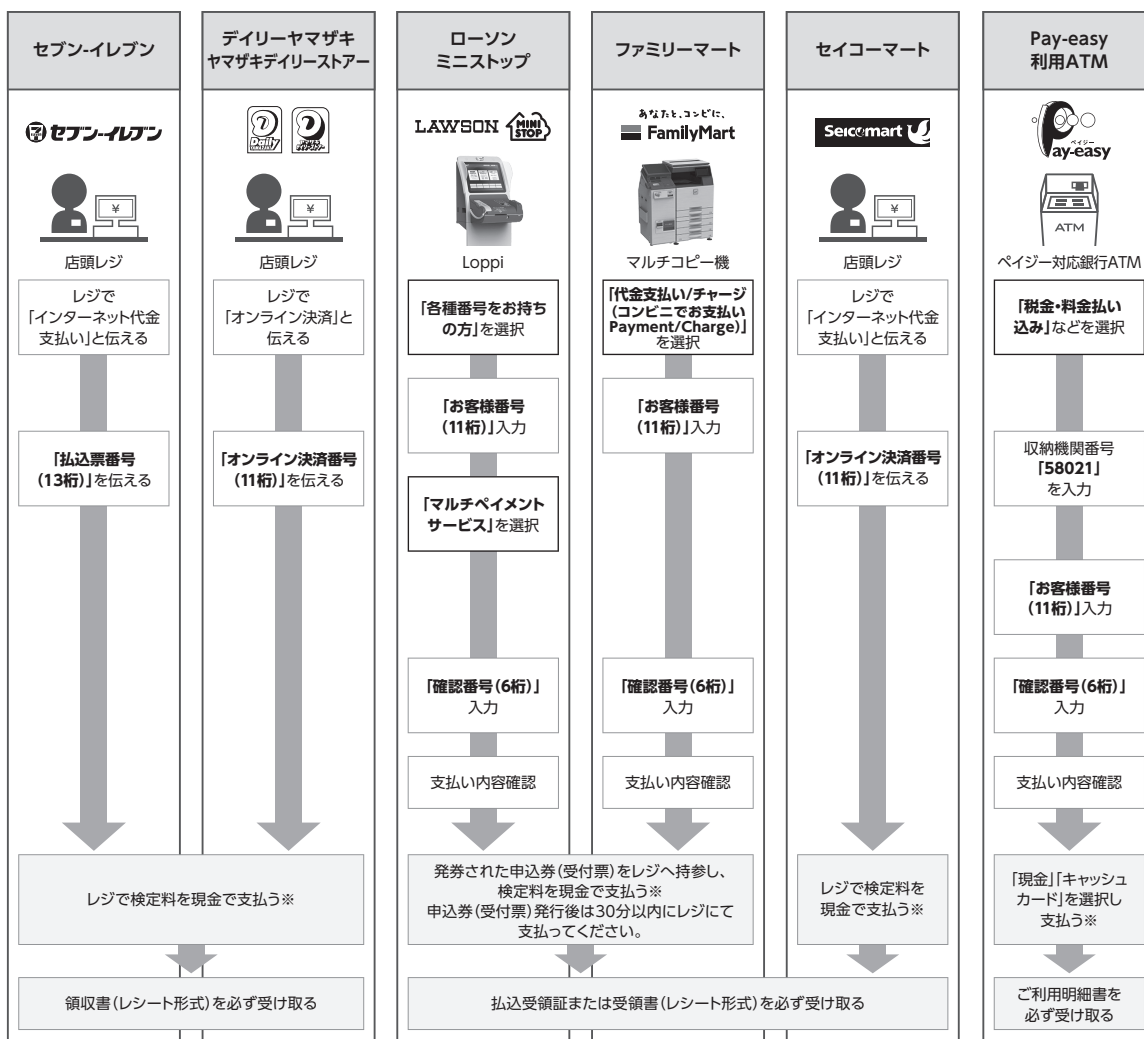
出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。



※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから入学検定料を支払ってください。

3 コンビニエンスストア



※ゆうちょ銀行・銀行ATMを利用する場合、現金で10万円を超える場合はキャッシュカードで支払ってください。コンビニエンスストアを利用の場合は現金で30万円までの支払いとなります。

STEP

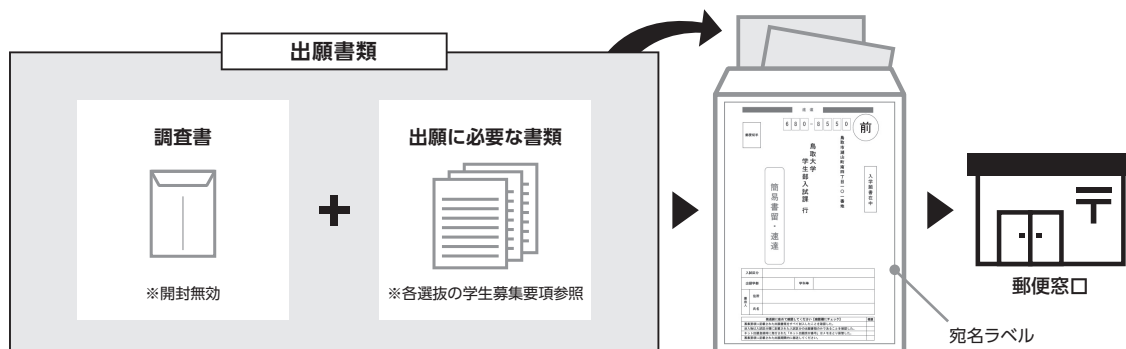
6



出願書類等の印刷と郵送

登録だけでは出願は完了していませんので注意してください。

出願登録、入学検定料の支払後にマイページからダウンロードできる出願書類を印刷し、その他の出願書類と併せて出願期間内に到着するように郵便局窓口から「簡易書留・速達郵便」で郵送してください。



出願書類等の印刷方法



- (1) STEP 5 お支払いが正常に完了するとマイページで「出願書類等(PDF)」のボタンがクリックできるようになります。
- (2) 「出願書類等(PDF)」のボタンをクリックして出願書類等を印刷してください。

※受理した出願書類は一切返却しません。

出願書類等提出用封筒宛名ラベル

※マイページで印刷

市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm)
に貼り付けて作成

〈出願完了〉

出願時の
注意点

出願はインターネット出願サイトでの登録完了後、入学検定料を支払い、出願書類を郵送して完了となります。出願書類が提出期限までに届かなければ出願を受理できませんので注意してください。

インターネット出願は24時間可能です。ただし、出願登録及び入学検定料の支払いは出願締切日16時まで(営業時間はコンビニエンスストアやATMなど、施設によって異なります)です。ゆとりを持った出願を心がけてください。

STEP

7



受験票の印刷

本学で出願を受理後、出願期間終了後から試験前日までにインターネット出願サイトのマイページからダウンロードできる状態にしますので、必ず印刷し、試験当日持参してください(※郵送はいたしません)。

※受験票のダウンロードが可能になりましたら、出願時に登録したアドレスへメールで通知します。

【印刷に関する注意事項】 受験票は必ずA4用紙に片面印刷にしてください。



① インターネット出願登録のために事前に準備するもの

パソコン・スマートフォン等の動作環境	インターネットに接続されたパソコン・スマートフォン等から出願登録を行います。(スマートフォンによってはご使用になれない場合があります。その場合はパソコンをご使用ください。)
印刷環境	出願書類及び受験票等を印刷するため、A4用紙で印刷することができるカラープリンターが必要です。
メールアドレス及びメールの設定	出願にはメールアドレスが必要です。出願登録時等に確認メールを送信します。 また、迷惑メール対策としてメールの受信制限を行っている場合は、確認メールが届かないことがありますので、「@e-apply.jp」を受信可能なドメインとして設定してください。
志願者本人の顔写真データ	出願には志願者本人の顔写真データ (JPEG, PNG) が必要です。 上三分身 (おおむね胸から上)・無帽・正面向き・無背景・カラーで、提出前3か月以内に撮影した鮮明な写真をご準備ください。顔写真データのファイルサイズは2MBまでとします。 なお、出願写真として適切でないと判断された場合は、再提出となる場合があります。 ※ 加工、もしくは虚偽の顔写真を使用した場合は不正行為となります。その場合は試験を中断し、試験成績が無効となります。合格後に判明した場合であっても、合格を取り消すことがあります。

詳細は、インターネット出願サイト「事前準備」<<https://e-apply.jp/ds/tottori-u/public/preparation>>をご確認ください。

② 検定料 (17,000 円) 支払方法等

検定料の支払いは、コンビニエンスストア、クレジットカード、郵便局・銀行 ATM (ペイジー対応)、ネットバンキングのいずれかの方法で行ってください。支払期限はインターネット出願登録を完了した日を含む4日以内の23時59分までです。ただし、インターネット出願登録期限 (11月6日 (金) 16時00分) 後の支払いはできません。

なお、振込手数料は振込者負担となりますのでご了承ください。

それぞれの支払方法に関する詳細は、「インターネット出願サイト」をご確認ください。

※検定料の返還について

既納の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

- (1) 検定料を振り込んだが出願しなかった (出願書類を提出しなかった) 場合
- (2) 検定料を振り込んだが出願が受理されなかった場合
- (3) 検定料を誤って二重に振り込んだ場合
- (4) 本学の検定料返還等特例措置申請者で、検定料返還が許可された場合

上記に該当する場合は、必ず学生部入試課 (TEL 0857-31-5061) へ連絡してください。
返還方法等を出願時に登録したメールアドレスにお送りします。

③ 出願書類等

調 査 書	文部科学省が策定する「大学入学者選抜実施要項」に基づき、出身高等学校等の長が作成し、厳封したものを提出してください。
推 薦 書	出身高等学校等の長が作成し、厳封したものを提出してください。 (本学のホームページ(鳥取大学入学試験情報ホームページ>[学部入試]学生募集要項>出願書類(様式)のダウンロード)から Word ファイルをダウンロードし、入力(記入)してください。) 【推薦書記入上の注意】 ○全学部共通 ・ 全項目について記入してください。 ○地域学部 ・ 提出の際は、A 3 サイズ(片面)に印刷してください。 ・ 推薦書記入の際、様式の改変は認めません。なお、Word ファイルに直接入力する場合、フォントサイズは、10 ポイント以上で入力してください。 ・ 推薦理由、学業、人物、課外活動については、抽象的、概評的に、単に「まじめである」、「よく活動している」というようなものではなく、より具体的に、事実に基づいた事項で詳細に記入してください。 ・ 推薦理由 本人の志望理由(入学理由、本学に入学後学びたいこと、将来の希望・目標)を確認の上、「学力の3要素(「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」)」の評価を踏まえ、推薦する理由を記入してください。 ・ 学業 ① 授業中の活動状況、勉学の自発性、計画性、持続性、あるいは理解力、創造的思考能力等につき、なるべく具体的事実をあげて所見を記入してください。 ② 得意な科目、不得意な科目、好きな科目、嫌いな科目等及びそれに対する取り組みについても具体的に記入してください。 ・ 人物 調査書の「指導上参考となる諸事項」欄の内容を踏まえ、人物、性格等について、本人の特性をよく表現するような具体的事実を記入してください。 ・ 課外活動 調査書の「指導上参考となる諸事項」欄の内容を踏まえ、本人がどのような姿勢で取り組んだのか、具体的事実を記入してください。 ○工学部 ・ 提出の際は、A 4 サイズ(両面)に印刷してください。 ・ 推薦書記入の際、様式の改変は認めません。なお、Word ファイルに直接入力する場合、フォントサイズは、10 ポイント以上で入力してください。 ・ 推薦理由は、本人の志望理由(入学理由、本学に入学後学びたいこと、将来の希望・目標)を確認の上、「学力の3要素(「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」)」の評価及び人物、性格、課外活動(社会活動を含む)等を踏まえ、推薦する理由を具体的に記入してください。

推 薦 書 (つづき)	○農学部 ・ 提出の際は、A 3 サイズ（片面）に印刷してください。 ・ 推薦書記入の際、様式の改変は認めません。なお、Word ファイルに直接入力する場合、フォントサイズは、10 ポイント以上で入力してください。 ・ 記入の際は、下記注意事項に留意し、単に「まじめである」、「よく活動する」というような概評ではなく、なるべく具体的事実をあげて記入してください。 ・ 学業 (1) 授業中の活動状況、勉学の自発性、計画性、持続性、あるいは理解力、創造的思考能力等につき、なるべく具体的事実をあげて所見を記入してください。 (2) 推薦の根拠となった学業上の特別な事由を記入してください。 (3) 得意な科目、不得意な科目、好きな科目、嫌いな科目等及びそれに対する取り組みについても具体的に記入してください。 ・ 人物 調査書の「指導上参考となる諸事項」欄と重複しないよう配慮し、人物、性格等について本人の特性をよく表現するような具体的事実を記入してください。 なお、取得資格・能力テストのスコア等があれば記入してください。 ・ 適性 特に本人の志望学科に対する適性及び意欲等を記入してください。
志 望 理 由 書 【地域学部・農学部】	本学のホームページ（鳥取大学入学試験情報ホームページ＞[学部入試]学生募集要項＞出願書類（様式）のダウンロード）から所定の様式を、A 4 サイズ（片面）で印刷の上、志願者本人の直筆により記入してください。 （地域学部地域学科地域創造コース・農学部生命環境農学科を志願する者のみ提出してください。）
農林業に関する資格又は地方自治体の首長等からの証明書 【農学部】	農林業に関する資格（例：日本農業技術検定2級以上、農業簿記検定2級以上、スーパー農林水産業士等）を有する者、又は地方自治体の首長等から卒業後の農林業への就業支援を確約された者は、これらを証明する資料の写しを提出してください（複数可）。 （生命環境農学科「募集方法(A)の②」を併願する者のみ必ず提出してください。）
英語能力を判定できる資料 【農学部】	英検（「英検CSEスコア」が表示されているもの）、TOEIC（L&R）、TOEIC Bridge（L&R）、TOEFL（iBT）、GTEC検定版（4技能）のいずれかの合格証又はスコア証明書の写しを提出してください（複数可）。 （生命環境農学科「募集方法(C)」を併願する者のみ必ず提出してください。）
課外活動実績等を判断できる資料及び指導者の所見 【農学部】	指導者が作成し、厳封したものを提出してください。 課外活動の種目については、個人競技又は団体競技等の別は問いませんが、以下のことがわかるよう顧問教諭等の指導者の所見（様式任意）を提出してください。 1. 指導者及び被推薦者の氏名 2. 所属していたクラブの部員数 3. 所属していた時のクラブの実績 4. 所属していたクラブ内での出願者の実績や役割、クラブの実績との関連性 5. 出願者の長所・短所 6. 出願者の将来性 （生命環境農学科「募集方法(D)」を併願する者のみ必ず提出してください。）

記入上の注意事項

1. 出願書類等に不備のある場合は受理しません。
2. 出願書類等受付後は、原則記載事項の変更は認めませんが、**出願書類等提出後に本人連絡先を変更した場合は直ちに鳥取大学学生部入試課に連絡してください。**
3. 出願書類等の記載内容と相違する事実が発見された場合は、入学決定後であっても入学の許可を取り消すことがあります。
4. 出願書類等は、受理後いかなる理由があっても返却しません。

推 薦 書

令和 年 月 日

鳥 取 大 学 長 殿

立

高 等 学 校
中等教育学校
学 校

所 在 地
学校長氏名

職印

記載責任者

下記の者は、貴学の学校推薦型選抜の要件に該当し、特に優秀な生徒であるので、責任をもって推薦いたします。

記

フリガナ	
生徒氏名	(男・女)

志望学部・学科等	学部	学科	コース
推薦理由			

※募集要項 P.17 記載の「推薦書記入上の注意事項」を参照してください。
※A3サイズ（片面）に印刷してください。

学 業	
人 物	
(社会活動を含む)課外活動	

学校推薦型選抜Ⅰ

(工学部用)

推 薦 書

令和 年 月 日

鳥 取 大 学 長 殿

立

高 等 学 校
中 等 教 育 学 校
学 校

所 在 地
学 校 長 氏 名

職 印

記 載 責 任 者

下記の者は、貴学の学校推薦型選抜の要件に該当し、特に優秀な生徒であるので、責任をもって推薦いたします。

記

志望学部 ・学科	学部	学科	フリガナ 生徒氏名
推 薦 理 由			

- ※ 募集要項 P.17 記載の「推薦書記入上の注意事項」参照してください。
- ※ 枠内に収まらない場合は次ページに記載してください。次ページの推薦理由が空欄の場合も A 4 サイズ両面 1 枚になるように印刷してください。
- ※ 推薦書の次ページの「生徒氏名」欄は必ず記入してください。

受験番号

(記入不要)

(推薦書 (2 ページ目))

フリガナ	
生徒氏名	

推
薦
理
由

見 本

推薦書

令和 年 月 日

鳥取大学長 殿

立

高等学校
中等教育学校
学 校

所在地
学校長氏名

職印

記載責任者

下記の者は、貴学の学校推薦型選抜の要件に該当し、特に優秀な生徒であるので、責任をもって推薦いたします。

記

フリガナ	
生徒氏名	(男・女)

学	
業	

人

物

適

性

※募集要項 P.17 記載の「推薦書記入上の注意事項」を参照してください。

※A3サイズ（片面）に印刷してください。

受験番号

（記入不要）

志 望 理 由 書

フリガナ	
氏 名	

記入要領

1. A4サイズ(片面)で印刷の上、本人が直筆で記入してください。
2. 記入にあたっては、黒インク又は黒のボールペンを使用してください。
3. コピーによるものは、認めません。
4. 複数枚となる場合は、必ずすべての書類の氏名欄に氏名を記入してください。
5. 誤って記入した場合は、二重線で消し、訂正してください。(訂正印は不要)
6. 本文の記入にあたっては、以下の(1)～(3)の事項をふまえて、2,000字以内にまとめてください。
 - (1) 当該コースを志望する理由
 - (2) 入学後、主に学びたいと思うことの具体的内容
 - (3) 当該コースで学んだことを将来どのように活かしたいか

	1	5	10	15	20	25
1						
5						
10						
15						
20						

受験番号

(記入不要)

氏 名	
-----	--

1

5

10

15

20

25

1

5

10

15

20

25

30

見本

受験番号	(記入不要)
------	--------

(農学部生命環境農学科志願者用)

志 望 理 由 書

フリガナ	
氏 名	

受験番号	(記入不要)
------	--------

希望する教育コース (募集方法(A)の①, (A)の②を志 願する者のみ記入)	
---	--

	1	5	10	15	20	25
1						
5						
10						
15						
20						
25						

氏 名	
-----	--

受験番号	(記入不要)
------	--------

1	5	10	15	20	25
1					
5					
10					
15					

(2の2)

記入要領

1. A4サイズ(片面)で印刷の上、本人が直筆で記入してください。
2. 記入にあたっては、黒インク又は黒のボールペンを使用してください。
3. コピーによるものは、認めません。
4. 複数枚となる場合は、必ずすべての書類の氏名欄に氏名を記入してください。
5. 誤って記入した場合は、二重線で消し、訂正してください。(訂正印は不要)
6. 本文の記入にあたっては、志望する理由及び入学後の抱負などを1,000字以内にまとめてください。

(注1) 農学部生命環境農学科は2年次から教育コースに所属します。

学校推薦型選抜I募集方法(A)の①、(A)の②で入学した場合は、出願時に希望した教育コースに所属することになります。次の表の4つの教育コースの中から分属を希望する教育コースを選択してください。

なお、入学後はコースの変更はできませんので、充分検討のうえ選んでください。

(注2) 学校推薦型選抜I募集方法(B)、(C)及び(D)で入学した場合は、入学時の教育コースは指定できません。2年次より次の表の4つの教育コースのいずれかに分属します。

教 育 コ ー ス	教 育 の 特 徴
国 際 乾 燥 地 農 学 コ ー ス	乾燥地を中心とした海外諸地域の環境問題や農業問題の本質を理解し、それらの地域における環境保全や農業農村開発に貢献できる人材を養成します。
里 地 里 山 環 境 管 理 学 コ ー ス	人々の営みが地域の資源・環境に及ぼす影響を自然科学と社会科学の広い視野から理解し、里地里山の持続可能な保全・利用に貢献できる人材を養成します。
植 物 菌 類 生 産 科 学 コ ー ス	新たに開発する生物資源とニホンナシやきのこなどの鳥取県の特産である既存の生物資源を生産し、高度に活用できる人材を養成します。
農 芸 化 学 コ ー ス	生物資源の有効利用並びに食品の栄養評価・機能性についての体系的な知識と技術を有する人材を養成します。

また、コースの内容については、農学部ホームページを参照してください。

農学部ホームページ <https://muses.muses.tottori-u.ac.jp/>

(3) 出願にあたっての注意事項

本学の学校推薦型選抜に出願した者は、他の国公立大学・学部（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。）の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す場合、課さない場合を含めて）へ出願することができません。

また、本学の学校推薦型選抜Ⅰに出願した者は、本学の総合型選抜Ⅱとの併願はできません。

ただし、学校推薦型選抜に不合格となった場合は、前期日程で試験を実施する大学・学部から一つ、後期日程で試験を実施する大学・学部から一つ及び公立大学の中期日程で試験を実施する大学・学部から一つの大学・学部に出願することができます。（出願要件に注意のこと）

（本学の工学部電気情報系学科、社会システム土木系学科及び農学部生命環境農学科の学校推薦型選抜Ⅰに出願し不合格となった場合は、同一学科の学校推薦型選抜Ⅱに出願することができます。）

※国立大学協会ホームページ（<https://www.janu.jp/>）参照

※公立大学協会ホームページ（<https://www.kodaikyo.org/>）参照

(4) 入学志願者の個人情報の取り扱いについて

① 入学志願者から提出された出願書類等に記載されている個人情報及び入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報については、入学者選抜に関わる業務（入学試験業務に付随する統計処理などの業務及び入学者選抜方法研究等のために行う業務などを含む。）及び入学後の教務関係（学籍、修学指導等）、学生支援関係（健康管理、奨学金申請、課外活動支援等）、授業料等に関する業務に利用することがありますが、法令等に基づき適切に管理します。

② 国公立大学の一般選抜における合格者決定業務を円滑に行うため、氏名、高等学校等コード、性別、生年月日及び大学入学共通テストの受験番号に限って、学校推薦型選抜の合格及び入学手続等に関する個人情報、大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。

他の目的での利用及び本学関係教職員以外への提供は一切行いません。

5. 受験票のダウンロード・印刷

受験票は出願書類を受理後、令和8年11月16日（月）（予定）からインターネット出願サイトのマイページでダウンロードが可能になりますので、印刷してください。なお、受験票の印刷が可能になりましたら、出願時に登録したメールアドレスへ「受験票ダウンロード通知メール」を送信してお知らせします。（「受験票ダウンロード通知メール」が届かない場合でも受験票の印刷は可能です。）

受験票は試験当日及び入学手続の際に必要となりますので、大切に保管してください。

【印刷にあたっての留意事項】

- ① 必ずA4サイズで印刷してください。
- ② 印刷後、切り取り線に沿って所定のサイズに切り取ってください。
- ③ 受験票と一緒に「受験票の取扱い」及び「受験上の注意」が印刷されますので、熟読の上、試験当日に受験票と併せて持参してください。

受験票は郵送しません。必ず各自で印刷して準備してください。

6. 本学が個別に入学資格審査を行う場合の注意事項

出願資格のうち、学校教育法施行規則（昭和 22 年文部省令第 11 号）第 150 条第 7 号の規定により出願する場合は、出身教育施設での学習内容及び当該教育施設のエデュケーションについて、個別の入学資格審査を行う必要がありますので、事前に申請方法を問い合わせてください。

問い合わせ先 学生部入試課 TEL 0857-31-5061

入学資格審査申請書提出期間 令和 8 年 9 月 28 日（月）～10 月 9 日（金）17 時まで（必着）

7. 障がい等のある入学志願者の事前相談について

- (1) 障がい等のために、受験上の配慮を必要とする者は、下記の書類提出期限に間に合うよう、以下の「お問い合わせフォーム」で受験上の配慮申請を希望する旨及び「選抜区分」「学部・学科等」を入試課へ連絡してください。折り返し必要書類等をお知らせします。必要書類等は、書類提出期限までに入試課へ提出してください。
- (2) 書類提出期限後に、不慮の事故等により、配慮が必要となった者は、速やかに「お問い合わせフォーム」（又は「電話」）で相談してください。本学が必要と認めた場合、志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等と面談等を行います。

○書類提出期限

令和 8 年 10 月 16 日（金）

○連絡先及び書類の提出先

鳥取大学学生部入試課

〒680-8550 鳥取市湖山町南 4 丁目 101 番地

TEL 0857-31-5061

FAX 0857-31-6778

（お問い合わせフォーム）

<https://www.admissions.adm.tottori-u.ac.jp/contact-dept>

○申請様式のダウンロード、本学の入学試験における主な配慮事項

<https://www.admissions.adm.tottori-u.ac.jp/consultation>

（注）障がい等の種類や程度によっては対応に時間を要することもありますので、出願する前のできるだけ早い時期に相談してください。

8. 選 抜 方 法

(1)選 考 要 領

入学者の選抜は、**大学入学共通テスト**を課さず、次のとおり行います。

学 部	学 科 等	選 考 要 領
地 域 学 部	地 域 学 科 地域創造コース	小論文及び面接（推薦書，志望理由書（2,000字以内），調査書，小論文は，面接の際の参考にする。）の結果により総合判定します。
工学部	機械物理系学科	数学，物理の基礎学力に関する口頭試問及び面接（推薦書及び調査書は，面接の際の参考にする。）により総合判定します。 なお，口頭試問の出題範囲は以下をご参照ください。
	電気情報系学科	数学，物理の基礎学力に関する口頭試問，面接（推薦書は，面接の際の参考にする。）及び調査書により総合判定します。 なお，口頭試問の出題範囲は以下をご参照ください。
	社会システム 土木系学科	数学，物理の基礎学力に関する口頭試問及び面接（推薦書及び調査書は，面接の際の参考にする。）により総合判定します。 なお，口頭試問の出題範囲は以下をご参照ください。
農学部	生命環境農学科	面接（英語の基礎知識を問う試問も含む。）及び出願書類により総合判定します。

(2)工学部の面接時に行う口頭試問の出題範囲等
いずれの問題も高等学校の教科書の範囲を超えない基本的なものです。

学 科	出題範囲 ※	面接方法(形式)
機 械 物 理 系 学 科	1. 数学 ・数学 I 数と式, 図形と計量, 二次関数, データの分析 ・数学 II いろいろな式, 図形と方程式, 指数関数・対数関数, 三角関数, 微分・積分の考え 2. 物理基礎 物体の運動とエネルギー(運動の表し方, 様々な力とその働き, 力学的エネルギー), 様々な物理現象とエネルギーの利用(波, 熱, 電気, エネルギーとその利用)	個人面接形式
電 気 情 報 系 学 科	1. 数学 ・数学 I 数と式, 図形と計量, 二次関数, データの分析 ・数学 II いろいろな式, 図形と方程式, 指数関数・対数関数, 三角関数, 微分・積分の考え 2. 物理基礎 物体の運動とエネルギー(運動の表し方, 様々な力とその働き, 力学的エネルギー), 様々な物理現象とエネルギーの利用(波, 熱, 電気, エネルギーとその利用)	個人面接形式
社会システム土木系学科	1. 数学 ・数学 I 数と式, 図形と計量, 二次関数, データの分析 ・数学 II いろいろな式, 図形と方程式, 指数関数・対数関数, 三角関数, 微分・積分の考え 2. 物理基礎 物体の運動とエネルギー(運動の表し方, 様々な力とその働き, 力学的エネルギー), 様々な物理現象とエネルギーの利用(波, 熱, 電気, エネルギーとその利用)	個人面接形式

※ 出題範囲は高等学校学習指導要領(平成 30 年告示)による

9. 試験日時・試験場等

令和8年11月21日(土)

学部	学科等	試験時間	試験科目等	試験場
地域学部	地域学科 地域創造コース	9:30~11:30	小論文	鳥取市湖山町南4丁目101番地 鳥取大学地域学部
		13:00~	面接	
工学部	機械物理系学科 電気情報系学科 社会システム土木系学科	9:30~	面接	鳥取市湖山町南4丁目101番地 鳥取大学工学部
農学部	生命環境農学科	9:30~	面接	鳥取市湖山町南4丁目101番地 鳥取大学農学部

(注) 試験開始時刻30分前までに指定の場所に集合してください。

10. 受験上の注意事項

- (1) 試験当日は、**本学の受験票を、必ず持参してください。**
 なお、受験票は入学手続の際にも必要となりますので、試験終了後も大切に保管しておいてください。
 また、受験票との照合だけでは十分な確認ができない場合に提示を求めることがありますので、マイナンバーカードやパスポート、生徒証(顔写真付き)等の身分証明書を準備してください。
- (2) 試験開始時刻に遅れた者は、係員に申し出て指示を受けてください。遅刻者の取扱いについては、受験票等交付の際にお知らせしますので、必ず確認してください。
- (3) **試験開始から終了までの間は退室を認めません。**試験中の発病又は用便等やむを得ない場合には、手を挙げて監督者の指示に従ってください。
- (4) 机の上には、受験票のほか、黒鉛筆(シャープペンシル可)、鉛筆キャップ、消しゴム、鉛筆削り(電動式・大型のもの・ナイフ類は不可)、時計(辞書、電卓、端末等の機能があるものやそれらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマーや学習タイマー・大型のものは不可)、眼鏡、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー(袋又は箱から中身だけ取り出したもの)及び指定された物品以外の携行品を置くことはできません。
- (5) 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末(スマートウォッチ・スマートグラス等)、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類は、試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し、電源を切っておいてください。
- (6) 試験場の下見では、建物内への立ち入りを禁止します。
 なお、試験室の位置等については、試験前日の15時から、各試験場入口に掲示します。
- (7) **学校推薦型選抜志願者は、特別の事情がある場合を除き、試験を欠席又は入学を辞退することはできません。**ただし、特別の事情があり、やむを得ず試験を欠席又は入学を辞退する場合は、必ず事前に学生部入試課又は受験学部へ連絡のうえ高等学校等長名により、その旨文書で提出してください。(様式任意)
- (8) 定められた試験科目等のうち一つでも受験しなかった者は、合格者判定の対象となりません。
- (9) その他学部から別途指示がある場合は、その指示に従ってください。
- (10) (4)・(5)に従わない場合は不正行為となることがあります。その場合はその場で試験を中断し、試験成績が無効となります。合格後に判明した場合であっても、合格を取り消すことがあります。悪質な不正行為については、警察に被害届を提出する場合があります。
- (11) 受験に関する案内を、試験日の約1週間前に鳥取大学入学試験情報ホームページに掲載する予定ですので、必ず確認してください。

*入学試験情報ホームページ <https://www.admissions.adm.tottori-u.ac.jp/>



試験場案内

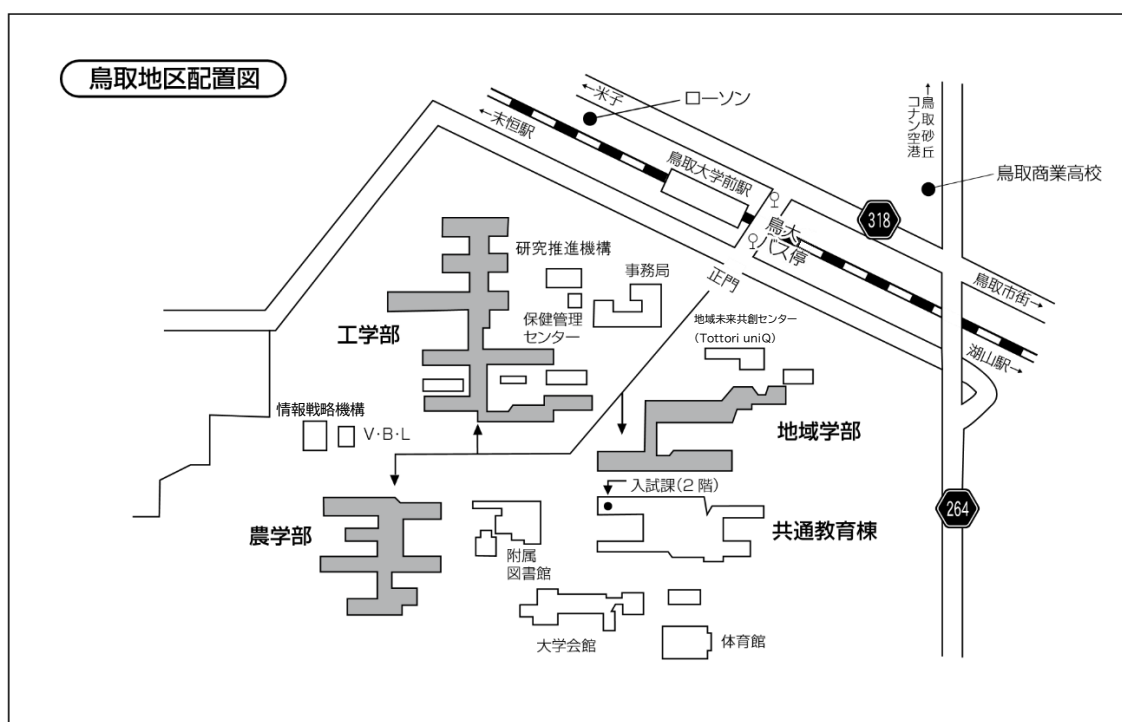
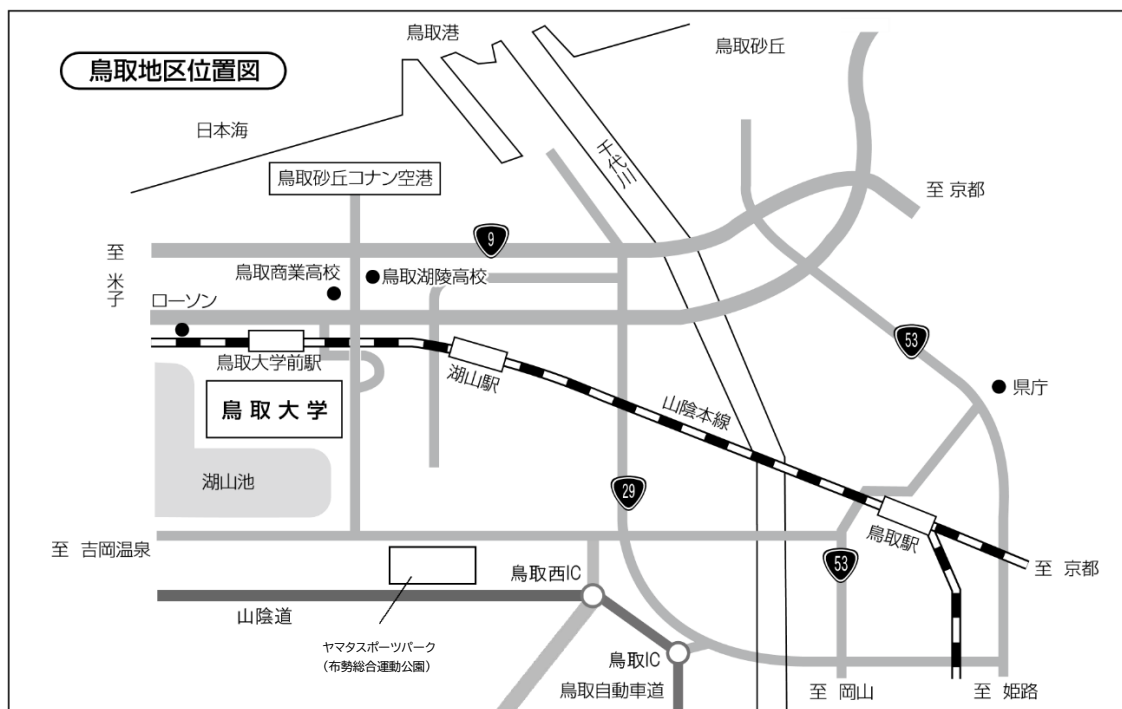
鳥取地区（地域学部，工学部，農学部）

試験場案内 ① JR 鳥取大学前駅で下車

② JR 鳥取駅北口バスターミナルからバスを利用し，「鳥大」下車（所要時間約 30 分）

③ 鳥取砂丘コナン空港からタクシーで約 5 分，徒歩約 30 分

※飛行機をご利用の場合は，天候不順による遅延・欠航にご留意願います。



11. 合否判定方法

学 部	学 科 等	合 否 判 定 方 法
地 域 学 部	地 域 学 科 地域創造コース	小論文及び面接の総合点の高い順に順位付けし、合否を判定します。同点の場合は、同順位とします。
工学部	機械物理系学科	口頭試問及び面接の総合点の高い順に順位付けし、合否を判定します。同点の場合は、同順位とします。
	電気情報系学科	口頭試問、面接及び出願書類の総合点の高い順に順位付けし、合否を判定します。同点の場合は、同順位とします。
	社会システム 土木系学科	口頭試問及び面接の総合点の高い順に順位付けし、合否を判定します。同点の場合は、同順位とします。
農学部	生命環境農学科	面接及び出願書類の総合点の高い順に順位付けし、合否を判定します。同点の場合は、同順位とします。 ・ 募集方法(A)の合否判定方法は、(A)の②を優先して選抜し、合格者とならなかった場合、(A)の①として選抜の対象となります。 ・ 募集方法(C)又は(D)の合否判定方法は、(C)又は(D)を優先して選抜し、合格者とならなかった場合、それぞれ(A)、(B)として選抜の対象となります。

12. 合 格 発 表

合格発表日時：令和 8 年 12 月 1 日（火） 午前 10 時頃

合格者に「合格通知書」を送付するとともに、鳥取大学ホームページ(<https://www.admissions.adm.tottori-u.ac.jp/>)に合格者の受験番号を掲載します。（午前 10 時頃の予定。掲示による合格者の発表は行わないので注意してください。）

合格通知書は、出願時に登録した住所へ送付するため、住所変更等をした場合は、合格発表前々日までに鳥取大学ホームページ問い合わせフォーム (<https://www.admissions.adm.tottori-u.ac.jp/contact-dept>) から、変更内容を連絡してください。

また、合否の結果を高等学校等の長へ文書で通知します。なお、電話等による合否の問い合わせには一切応じません。

試験当日又は前日に、大学周辺や主要駅前において「合否至急電話連絡」などの勧誘を行う者がいますが、本学とは一切関係ありませんのでご注意ください。

13. 入 学 手 続

(1) 手続期限・方法

合格者は、以下のとおり入学手続書類を提出してください。

郵送の場合： 令和 8 年 12 月 8 日（火）17 時までに必着となるように「簡易書留・速達」として、送付してください。

持参の場合： 令和 8 年 12 月 8 日（火）17 時までに、次の「入学手続場所」に提出してください。
（受付時間：平日 9 時～17 時）

○送付先・入学手続場所

〒680-8550 鳥取市湖山町南 4 丁目 101 番地 鳥取大学学生部入試課（共通教育棟 2 階）

※入学手続の詳細については、合格者に別途お知らせします。

(2) 入学手続時に提出するもの

- ① 令和 9 年度鳥取大学学校推薦型選抜 I 受験票（入学手続完了後、返却します。）
- ② 入学料振込を証明する書類
- ③ 学生証用写真台紙（本学所定の様式（写真添付※））
※縦 4 cm×横 3 cm。正面・無帽・肩口まで・無背景で、提出前 3 か月以内に撮影したもの。
- ④ 卒業証明書（「卒業見込」で受験した者は、卒業式後に学生部入試課に提出してください。「卒業」で受験した者は、提出の必要はありません。）
- ⑤ 上記以外の本学所定のもの

(3) 入学料等

- ① 入学料 282,000 円（予定額）
・合格者は、必ず入学手続期限までに入学料をお振り込みください。
ただし、入学料・授業料減免を申請する方は、入学料の振込は行わず、入学料・授業料減免申請予定票を入学手続書類に同封して提出してください。
・振込方法等詳細については、合格通知の際にお知らせします。
・入学手続は入学料を納入し、かつ手続期限までに(2)の入学手続書類を提出しなければ完了となりません。なお、納入された入学料は、返還できません。
- ② 授業料 年額 535,800 円〔前期分 267,900 円 後期分 267,900 円〕（予定額）
・納入期限は、前期は 5 月末日、後期は 11 月末日です。
・本学では授業料の納入を、口座振替方式としています。
・口座振替手続等詳細については、合格通知の際にお知らせします。

（注）上記の入学料、授業料は予定額です。入学時及び在学中に改定があった場合は、改定後の入学料、授業料を納入していただくことになりますのであらかじめご了承ください。

(4) 留意事項

- ① 学校推薦型選抜合格者の入学辞退は、原則として認められません。
ただし、特別の事情があり入学を辞退する場合は、令和 9 年 2 月 17 日（水）までに推薦学校等の長を経由して「入学辞退願」（本学指定様式）を提出し、その許可を得なければなりません。
- ② 学校推薦型選抜合格者は、他の国公立大学・学部（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。）を受験しても合格者となりません。
ただし、本学へ「入学辞退願」を提出し、許可された者は除きます。
※国立大学協会ホームページ（<https://www.janu.jp/>）参照
※公立大学協会ホームページ（<https://www.kodaikyo.org/>）参照
- ③ 合格者が所定の期日までに入学手続を行わなかった場合は、合格者としての権利を失います。この場合、いずれの国公立大学の個別学力検査等を受験しても入学許可を得られません。

ただし、本学へ「入学辞退願」を提出し、許可された者は除きます。

- ④ 入学科・授業料減免申請をして、入学手続きを完了した者が入学辞退をする場合は、入学科全額を納付していただく必要があります。

14. 入学前教育

学校推薦型選抜Ⅰ合格者は、合格が決まってから入学まで、4か月もの長い時間があります。その時間を有効に使い、大学生活のスタートを応援するために入学前教育を実施します。在籍する学校長のご理解をいただいた上で、高等学校教育への影響を配慮しながら、「Web研修」、アドミッションオフィス及び合格した学部・学科がeラーニングやレポート等の提出など、生活面、学習面のサポートをします。詳細は、合格通知書とともに案内します。

① 入学前教育研修の日程等

12月12日(土)(予定)【各自、ZOOMを利用して遠隔で参加】

1. 開講挨拶
2. 研修プログラム説明(入学前教育を実施する趣旨,e-Learning,学力試験等)
3. 参加者全員(合格者,教員)の自己紹介
4. 大学生活に関する相談会(在学生との交流)

② e-Learningを利用した入学前教育

e-Learningを利用した入学前教育には、費用の自己負担(5,500円(予定額))がかかります。内容及び諸経費等の詳細については、入学前教育研修の中でお伝えします。

15. 学生生活案内

(1) 学寮、民間アパート等

学寮の詳細については、学生部学生生活課学生支援係(TEL 0857-31-5058)へ、民間アパート等については、鳥取大学生生活協同組合(TEL 0857-28-1100)等へお問い合わせください。

※鳥取大学ホームページ参照

鳥取大学ホームページ>教育・学生生活>福利厚生>[学寮](#), [アパート・マンション](#)

(2) 入学科・授業料の減免

本学の入学科・授業料の減免は、国の「高等教育の修学支援新制度」に基づいて行っており、日本学生支援機構が行う「給付奨学金」に申込み、採用された場合に、その採用区分に応じて減免の支援を行います。

また、「高等教育の修学支援新制度」の拡充により、令和7年度から、多子世帯の学生を対象に入学科・授業料が無償となりました。

詳細については、下記ホームページをご覧ください。

・文部科学省ホームページ「高等教育の修学支援新制度」

【URL】https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/hutankeigen/index.htm

・日本学生支援機構ホームページ「給付奨学金(返済不要)」

【URL】<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/about/kyufu/index.html>

(3) 奨学金制度

人物・学業ともに優秀かつ、経済的理由により修学が困難と認められる者には、本人の申請に基づき選考の上、奨学金が貸与・給付される制度があります。

① 日本学生支援機構奨学金

日本学生支援機構が行う奨学金には、貸与型の第一種奨学金(無利子)、第二種奨学金(有利子)と、給付型の奨学金があります。なお、給付奨学金に採用された場合、上記(2)記載の「高等教育の修学支援新制度」に基づく入学科・授業料減免の支援を併せて受けることができます。

詳細は以下の日本学生支援機構ホームページ「奨学金」をご覧ください。

【URL】 <https://www.jasso.go.jp/shogakukin/index.html>

② その他の奨学金

日本学生支援機構奨学金のほか、都道府県や市町村の奨学金、民間の各種育英団体による奨学金があり、大学の推薦によるものとそれぞれの公募により直接申し込みするものがあります。

詳細については、下記ホームページをご覧ください。

・鳥取大学ホームページ：地方公共団体・民間育英団体奨学生の募集について

【URL】 <https://www.tottori-u.ac.jp/campuslife/fee/scholarship/>

(4) 国の教育ローン、提携教育ローン

① 国の教育ローン（日本政策金融公庫）

受験費用や入学時・在学中にかかる費用を対象とした公的な融資制度です。

学生1人につき350万円以内を固定金利で利用でき、在学期間内は利息のみの返済とすることができます。詳細については、日本政策金融公庫教育ローンコールセンター（0570-008656（ナビダイヤル））へお問い合わせください。

② 提携教育ローン（オリエントコーポレーション）

入学金・授業料を対象にした（株）オリエントコーポレーション（オリコ）との提携教育ローンです。オリコが保護者に代わって大学に一括納入し、毎月の返済については複数の返済プランの中から選ぶことができます。詳細については、オリコ学費サポートデスク（0120-517-325）へお問い合わせください。

(5) 学生教育研究災害傷害保険（学研災）

正課中、学校行事中、課外活動中、通学中及び学校施設内での傷害事故（ケガなど）が起きた場合の補償制度で、本学では全員加入です。

詳細については、保健管理センター（TEL 0857-31-5065）へお問い合わせください。

(6) 学研災付帯賠償責任保険（学研賠）

正課中、学校行事中、インターンシップ中、ボランティア活動中及び通学中において他人にケガをさせた場合や他人の財物を破損した場合に、法律上の損害賠償責任を負ったときのための保険であり、本学では全員加入です。

詳細については、保健管理センター（TEL 0857-31-5065）へお問い合わせください。

16. ノート型パソコンの必携について

○ノート型パソコン必携のお願い

ICTの浸透により、生活をあらゆる面でより良い方向に変化させるデジタルトランスフォーメーション（DX）が進む現代社会において、デジタルを駆使して人とつながり、社会的課題の解決を図る人材育成が必要であるため、新入生全員にノート型パソコンを必携していただいています。

ノート型パソコンは、対面授業における事前の資料配布及び演習等での利活用に加え、対面授業とオンライン授業を組み合わせたハイブリッド型授業で必須となるほか、オンデマンド型授業である数理・データサイエンス教育の受講と利活用、講義レポートの作成や提出、修学上必要となる履修登録や自己の成績確認など様々な用途で幅広く活用することになります。

つきましては、ご入学に際して保護者の方々の経済的な負担は相当なものと思いますが、DXが進む時代のなか、教育研究の質と学修成果の向上を目指す本学の方針をご理解いただき、自宅・大学・外出先と場所を選ばず使用できるノート型パソコンをご準備いただきますようお願いいたします。

※ご準備いただくパソコンの性能等の詳細は2月下旬にお知らせする予定です。

○経済的事情によりノート型パソコンの準備が困難な方へ

本学では、経済的事情によりノート型パソコンを準備することが困難な方に対する措置として、大学所有のノート型パソコンを授業時間等に限り貸し出します。

※ノート型パソコン必携に関する問い合わせ先 学生部教育支援課教務支援係（TEL 0857-31-6774）

17. 入学に必要な学部別納入経費（予定）

入学にあたっては入学科・授業料のほか、以下の経費が必要となりますのでご確認ください。

なお、納入方法等については別途お知らせします。

学 部	事 項	金 額
地 域 学 部 合計 54,660 円	学生教育研究災害傷害保険料	4 年分 3,300 円
	学研災付帯賠償責任保険料	4 年分 1,360 円
	助 成 会 費	4 年分 16,000 円
	同 窓 会 入 会 金	5,000 円
	同 窓 会 費	終身会員 15,000 円
	学 生 活 動 支 援 会 費	4 年分 4,000 円
	体 育 会 ・ 文 化 会 会 費	入会金 10,000 円
工 学 部 機械物理系学科 54,660円 電気情報系学科 44,660円 社会システム土木 系学科 39,660 円	学生教育研究災害傷害保険料	4 年分 3,300 円
	学研災付帯賠償責任保険料	4 年分 1,360 円
	後 援 会 費	4 年分 16,000 円
	工 学 部 同 窓 会 入 会 金	5,000 円
	機械物理系学科同窓会入会金及び終身会費	機械物理系学科のみ 15,000 円
	電 気 情 報 系 学 科 同 窓 会 入 会 金	電気情報系学科のみ 5,000 円
	学 生 活 動 支 援 会 費	4 年分 4,000 円
	体 育 会 ・ 文 化 会 会 費	入会金 10,000 円
農 学 部 合計 84,660 円	学生教育研究災害傷害保険料	4 年分 3,300 円
	学研災付帯賠償責任保険料	4 年分 1,360 円
	後 援 会 費	4 年分 16,000 円
	同 窓 会 入 会 金	5,000 円
	同 窓 会 費	終身会費 45,000 円
	学 生 活 動 支 援 会 費	4 年分 4,000 円
	体 育 会 ・ 文 化 会 会 費	入会金 10,000 円

18. そ の 他

- (1) 受験に関する照会は、以下のお問い合わせフォームをご利用ください。
(お問い合わせフォーム) <https://www.admissions.adm.tottori-u.ac.jp/contact-dept>
- (2) 入試情報の開示について
学校推薦型選抜Ⅰについては、受験者の個人成績及び合格者の成績等（満点，最高点，最低点，平均点）の開示はしません。

問合せ先

事項		問合せ先	
募集要項・出願手続		学生部入試課	TEL 0857-31-5061
入学後の生活支援	学寮など(P.36)	学生部学生生活課 学生支援係	TEL 0857-31-5058
	入学料・授業料減免, 奨学金など(P.36~37)	学生部学生生活課 奨学係	TEL 0857-31-5059 又は 6776
入学後の教育支援	ノート型パソコン必携(P.37)	学生部教育支援課 教務支援係	TEL 0857-31-6774
その他志望する学部 の受験に関する 問合せ	地域学部	地域学部教務係	TEL 0857-31-5077
	工学部	工学部教務係	TEL 0857-31-5186
	農学部	農学部教務係	TEL 0857-31-5342

鳥取大学学生部入試課

〒680-8550 鳥取市湖山町南4丁目101番地

TEL 0857-31-5061

FAX 0857-31-6778

(お問い合わせフォーム)

<https://www.admissions.adm.tottori-u.ac.jp/contact-dept>

鳥取大学入学試験情報ホームページ

<https://www.admissions.adm.tottori-u.ac.jp/>



スマホ・携帯電話サイト

https://admission.telemail.jp/shingaku/topics_g/important/list/10003463

(スマホ・携帯電話サイト)

見やすく読み間違いにくい
ユニバーサルデザインフォントを
使用しています。